

# 日蓮大聖人のお言葉

弘安二年（一二七九）宗祖日蓮大聖人が聖寿五十八歳の時、身延から富木殿に送られた御手紙の一節です。大聖人は自ら、世間からみれば日本第一の貧しき者であると申されいますが、法華經にてらしお題目をお唱えすることでは、世界第一の富める者であると申されており、法華經の功德の広大なることをお説きになられています。

日蓮は

世間には日本第一の

貧<sup>まづ</sup>しき者なれども、

佛法を以て

之を論<sup>ろん</sup>ずれば

一<sup>いち</sup>閻浮提<sup>えんぷだい</sup>（全世界）

第一の富めらる者なり。

（四菩薩造立抄）

株橋日涌上人御染筆『日々の信行訓』より転載



法華宗